

越する南風が都心部から放出される大気熱負荷量を北部に移流させ、北部の長時間暴露地域（420時間以上）を形成しているものと考えられる。

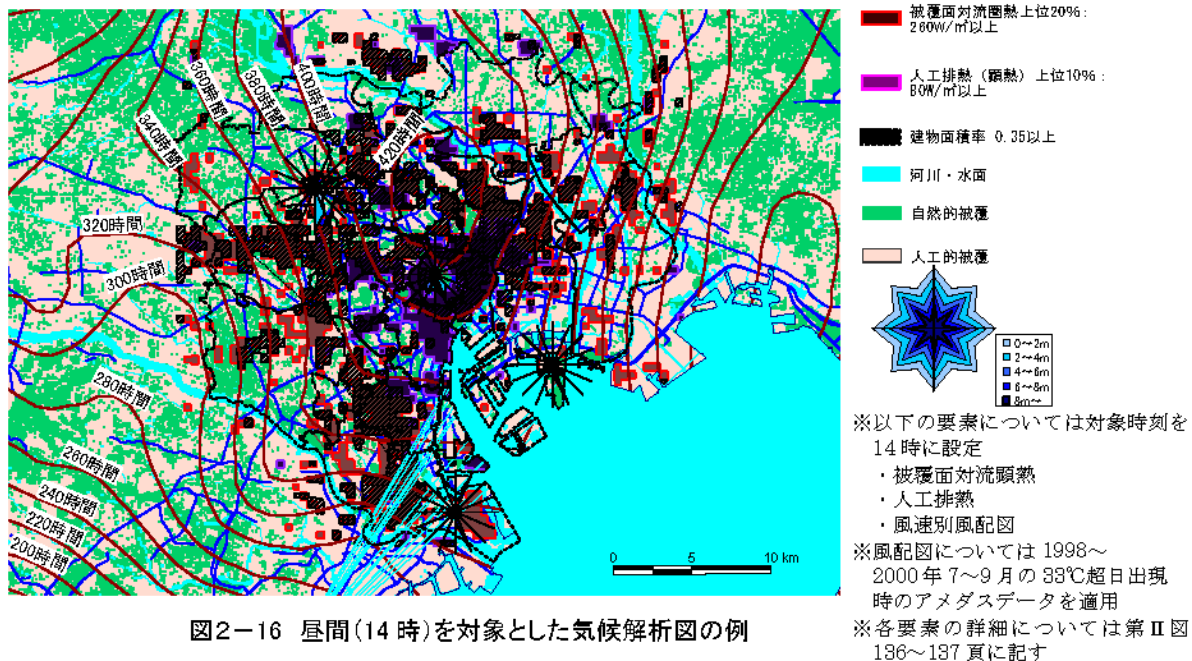


図2-16 昼間(14時)を対象とした気候解析図の例

(課題の抽出)

昼間の高温化を緩和するために対処すべき課題のある地区の抽出例を示した(図2-17)。

ここでは、昼間の高温化の主要な原因である対流顕熱と人工排熱(顕熱)の合計、すなわち大気熱負荷量(顕熱)が $340\text{W}/\text{m}^2$ 以上となる地区を抽出した。この結果、都心部の商業業務地区で人工排熱(顕熱)が大きい地区が抽出されている。昼間の高温化対策にはこれらの地区における対流顕熱の削減や人工排熱(顕熱)の削減が重要な課題であると言えよう。

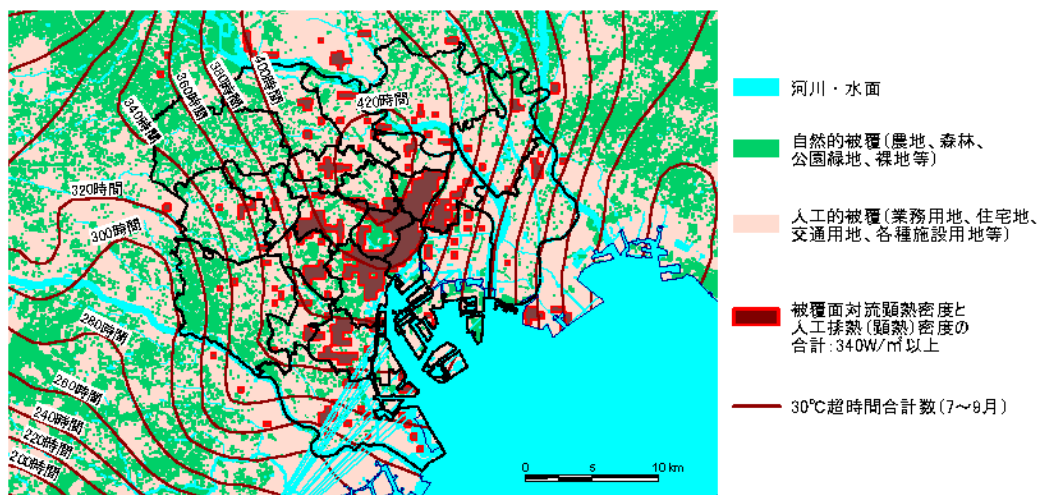


図2-17 昼間の高温化対策のための課題地区の例